



花尾小学校 学校通信 No. 7

令和4年 6月30日 発行

北九州市立花尾小学校

はな お

校長 麻生 和 秀

『キープスマイル・ステイポジティブ』
「地域の特性を基に、知・徳・体・志を備えた児童の育成」

<え！梅雨明け？ これから暑さが心配です！>

なんと、6月下旬の梅雨明け宣言。最も早い梅雨明けだということです。やはり、心配されるのが、熱中症。学校においても、熱中症指数を気にしながら、外での活動を制限していくようになります。28日（火）は、気温が33度まで上がり、WBGT が「危険」の予想でした。そこで、外での体育科学習・休み時間での外遊び、外掃除・体育館での激しい運動をやめるようにしました。マスクも、「外でははずしましょう。」と声掛けを行っています。夏休みまで、1ヶ月を切り、この暑さも続くようです。学校においても、熱中症に十分に注意を払っていきますので、水分（水筒）をお願いします。また、休日の過ごし方についても、熱中症に気を付けて過ごすようにご家庭においてもご支援をお願いします。

<お知らせ>

個人情報保護のため、
一部情報を削除しております。

「聞く力」について考えてみましょう。

学力が身に付くには、「聞く（聴く）・話す」が大きなウエイトを占めます。

特に、聞く力は、ことばの習得にはなくてはならない能力です。もっと言えば、物事を学ぶ際の基本姿勢としてなくてはならないもの。学ぶ姿勢の背骨のようなものです。幼児期では特に5歳くらいになると、聞く力があるかどうかで、その後の知能の発達や学習能力にも大きな差が出てくるようになります。（祖川泰治(2015)、『IQがみるみる伸びる 0歳から6歳までの遊び方・育て方』）また、臨床心理士として、子どもの心と教育をテーマに活動している河井英子氏は、言葉をしっかりと聞くことは、単に国語の力がつくというだけでなく、思考力を高め、理解力を深めることにも深くつながっていくと言います。それはまさに、学力を伸ばすために最も重要な条件と言えます。

「話す力」「書く力」は、話させたり書かせたりすれば、その能力を他人が確かめることが容易です。しかし、きちんと「聞く力」がついているかどうかは、はたから見ただけではよくわかりません。だからこそ、家庭で「聞いているかな？ 聞いたことを理解しているかな？」と意識的に確かめ合うような時間が有意義になってきます。言葉に込められているものを聞きとることができれば、相手の気持ちを汲み取ることができるようになり、自分の気持ちも言葉で伝えることができるようになります。「聞く力」は、「話す力」「書く力」、そしてコミュニケーションの根幹。家庭内でも会話の中で「聞く力」を身に付けていけるといいですね。

2年生 九国大と英語の交流



昨年度より、本校の特色ある取組の1つとして、地元の九州国際大学 国際社会学科 宮武教授のゼミの学生とタイアップをして、2年生を対象に正しい英語の発音の学習を行い、中学年の外国語活動につなげていく取組を始めました。英語に堪能な学生たちが子ども達が楽しく学べるように計画し月一回のペースで授業を行います。フルーツの発音や数字の発音、ハロウィンやクリスマスなどで使う英語などを楽しく教えていただきます。子ども達が楽しく英語を学べるための、花尾小独自のカリキュラムです。

◆主な7月行事◆ ※ ○数字は学年

- 1日（金）フッ素塗布（②③の希望者）
ひまわり学習塾⑤⑥の希望者
- 4日（月）平和に関する学習①～⑥（体験談）
全校5時間授業（～8日）
- 7日（木）スクール救命士体験⑥
- 12日（火）世界遺産ツアー（校外学習）⑤
- 13日（水）プール掃除⑥ ひまわり学習塾⑤⑥
- 14日（木）個人懇談会 14：00～16：30
- 15日（金）個人懇談会 14：00～16：30
- 18日（月）海の日
- 19日（火）学期末大掃除・給食終了
- 20日（水）1学期終業式 千羽鶴献納
- 21日（木）～8月25日（木）夏休み
- 8月26日（金）2学期始業式

